

平成28年度

全国スポーツ指導者連絡会議 北海道・東北ブロック会議が開催されました

期 日：平成28年 6月16日(木)

場 所：秋田ビューホテル (秋田市)

参加者：全国スポーツ指導者連絡会議幹事・代表委員

北海道・東北各県スポーツ指導者協議会関係役員、秋田県関係者

内 容

1 開 会 (秋田県スポーツ指導者協議会 尾形副会長)

2 あいさつ 秋田県スポーツ指導者協議会 会長 細谷 義次氏

3 来賓あいさつ 公益財団法人秋田県体育協会 専務理事 片野 裕氏

4 自己紹介

5 報 告

全国スポーツ指導者連絡会議の状況等について

全国スポーツ指導者連絡会議 東北ブロック幹事 浅沼 道成氏

6 研究協議

(1) 実践発表 ～スポーツクラブあきた～ の取り組みについて

秋田県スポーツ指導者協議会 理事 渡辺 英直氏 (要 旨)

名 称 特定非営利活動法人 スポーツクラブあきた

会 員 200名

従 事 者 専従 2名 パート 5名

年間予算 3000万円

法人沿革 2002年設立

法人理念 スポーツの振興と交流に関する事業を行い、スポーツ文化の発展と青少年の健全な育成を図る。

クラブ設立のきっかけ。なぜ、クラブを立ち上げたのか。

- \* 我々ができる社会貢献
- \* 秋田のまちづくり・活性化
- \* 故郷 秋田への恩返し
- \* 諸先輩指導者の想い継承

我々ができること。

スポーツ環境の整備

① 指導の質の向上(コーチ → コーディネーター)

- \* 各世代に応じた指導
- \* 将来ある子供たちへの指導(学校+地域)  
それぞれのライフスタイルにあった活動の提供  
マネジメントスキルは必須  
(指導者はその指導について、仲間にさせられるか)
- \* 学ぶことをやめた指導者は、教えることをやめなければならない。

## ② 施設・場の整備

- \* 活動する場の環境整備、向上  
仲間づくりのお手伝い  
気軽に活動できる場の提供
- \* 施設の整備  
気持ちよくプレーできる場の整備  
お金をかけずにグラウンドを芝生化にした  
(地元企業からグラウンドの無償借用)  
地域住民から以前は砂が飛んできたと言ったが、  
今は砂が飛ばなくなって良かったと言われる。

## ③ 指導者環境の整備 (する、みる、支える人の幸せ)

- \* 指導者の環境の整備(向上)  
スポーツで飯を食う環境の整備(指導者の幸せ)  
指導者の集う場・学ぶ場・高め合う場の提供
- \* トップスポーツ選手のセカンドキャリアサポート  
(元ブラウブリッツ秋田の選手の雇用サポート)

※ スポーツを通しての幸せ

※ スポーツ環境の整備

私達ができるまちづくり、社会貢献  
故郷への恩返し、スポーツ文化の継承

[快適な環境の指導]

みる。する。支える場(仲間づくり)

認め合い。学びあい。高め合う場

行動は必ずしも幸福をもたらさないかもしれないが、  
行動の無いところに幸福は無い

質疑 宮城県)施設の整備を自分達で実施したことについて  
渡辺氏)面積は8千から1万平米、銀行の所有地でなかなか活用  
されてなかったグラウンドで空いている時間帯を借用  
運搬費用 30万円 土壌改良費 20~30万円  
人件費 会員と地域の人達 無償で手伝ってくれた  
芝生への水まきは、企業の御厚意による無償で使用  
当初は、朝5時から水まき作業をした  
年間20万円位の経費で実施している

## (2) 協議・意見交換 ~スポーツ指導者制度について~

- ① 道県スポーツ指導者協議会運営・活動状況  
運営費・指導者数・会員数・会費納入者数・会費・全国被表彰者旅費・  
会報発行・研修会開催回数等・研修会参加費などについて報告
- ② 各道県体育協会とスポーツ指導者協議会の連携  
各道県の状況について資料により説明
- ③ 次年度協議テーマ

④ その他

平成29年度30年度の全国スポーツ指導者連絡会議 東北ブロック  
代表幹事に、宮城県から選出になります。

7 閉 会 (秋田県 尾形副会長) (記録者 太田理事長)